

科目名称	在宅看護論Ⅱ(訪問看護技術)	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 後期	2	45
担当教員	宇都宮 千都	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (保健師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

対象の健康課題や生活上の問題に対する的確な判断能力を養うとともに、療養者の生活に合わせた基本的技術を身につける。また在宅では家族が主となり介護を行うので、家族に対する相談的・教育的対応技術を学ぶ。

【2】学習目標

1. 対象の生活に沿った日常生活援助の方法を理解できる。
2. 医療依存度の高い療養者への看護について理解できる。
3. 家族を含めた援助の重要性が理解できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	在宅看護論Ⅱ(訪問看護技術)の考え方 訪問看護の看護過程の特徴とアセスメントの展開方法	講義
2	面接技術	講義
<在宅での基本技術:第3～第9回> 脳血管障害を患い、介護者も高齢であるA氏の事例を通して学ぶ。		
3	食。栄養の援助	講義
4	服薬管理	講義
5	清潔の援助①、排泄の援助	講義
6	移動の援助	講義
7	物品の工夫(ケリーパッドの作成)	演習
8	演習:移動、洗髪、入浴介助	演習
9		
<医療依存度の高い療養者への看護技術:第10～14回>		
10	在宅における感染予防対策	講義
11	在宅中心静脈栄養法(HPN)	講義
12	在宅人工呼吸療法(HMV)	講義
13		
14	褥瘡管理 ストーマ	講義
<在宅療養者の状態別看護:第15～第21回>		
15	小テスト・統合失調症の療養者に対する事例展開	講義
16	難病(ALS)の療養者に対する事例展開	講義
17		
18		
19	在宅での終末(看取り)期にある療養者の看護①	講義
20	在宅での終末(看取り)期にある療養者の看護②(地域看護専門看護師による講義)	講義
21		
22	まとめ	講義
23	試験	

【5】評価方法

講義開始時に既習内容のグループ発表を行う(10点)、筆記試験(70点)、小テスト(5点)、レポート(5点×3=15点)

【6】教科書

系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 2020年 第5版

【7】参考書

木下由美子編:在宅看護論 第5版 医歯薬出版株式会社

押川眞黄子監:写真でわかる訪問看護 改訂2版 インターメディカ

角田直枝編:よくわかる在宅看護 学研メディカル秀潤社

ケアプロ株式会社編:ケアプロ式新卒・新人訪問看護師教育プログラム 学研メディカル秀潤社

【8】受講生へのメッセージ

訪問看護では看護師 1 人が療養者宅へ訪問し、看護援助を提供します。そのため、対象の生活環境を含めた様々な視点から適切な判断をしなければなりません。また、看護師が訪問していない時間帯は家族が援助を提供することになります。したがって家族への指導の視点も必須です。